

## 京都微研 新入社員アンケート

2020年度および2021年度の入社社員を対象にアンケートを実施しました。

Q1. 入社を決断したポイントを教えてください。

Q2. 仕事のやりがいや喜びを教えてください。



2020年度入社

Q1.入社を決断したポイントを教えてください。

家畜の予防衛生に興味があり、ワクチン業界を志望しました。

研究に関心があったのですが、社員交流会の際に現場を見てワクチンプログラムを考える学術の方のお話にも興味を持ち、牛ワクチンの国内シェア率が高い微生物化学研究所では様々な経験が積めるのではないかと考え、入社を決めました。

Q2.仕事のやりがいや喜びを教えてください。

自分が培養に携わったウイルス原液がワクチンとなって畜産を支えていることにやりがいを感じています。



2020年度入社

### Q1.入社を決断したポイントを教えてください。

面接時の座談会で女性社員の方から、「一度会社を離れても、もう一度入社しました」という話を聞いたことから、魅力ある職場だと考えたためです。また、営業職でなければ基本的に転勤がないことも大きかったです。なによりも一番は「憧れの京都に住める」という点で決めました。

### Q2.仕事のやりがいや喜びを教えてください。

部署の関係上、農家の方と直接やりとりをすることはありませんが、営業などの現場に出向かれる方から、ワクチンを導入して効果がでたとの声を聞くと嬉しいです。



2020年度入社

### Q1.入社を決断したポイントを教えてください。

私は過去に機械系の学校に通っており、京都微研で用いられる大型培養装置に最初は興味を持ちました。元々学んでいた機械系の分野とは大きく異なる業種の会社のため、自分が学んでいた経験や知識が役に立つのかとても曖昧でした。しかし、動物を守るためのワクチンを製造する京都微研であれば、仕事にやりがいをもって働けるのではないかと思い入社を決断しました。

また、大型培養装置をはじめ他とは一風変わった機械に触れることができるのではないかということも決断の一つでした。

### Q2.仕事のやりがいや喜びを教えてください。

機械を扱っていく中で、平常通り問題なく運転しているかを管理したりすることはとてもやりがいを感じます。製造を行う上で機械に異常が起きると、製造に多大な影響を与える可能性があるため、慎重に見ておく必要があります。とてもプレッシャーを感じる面はありますが、その分問題なく製造できた時のやりがいは一入だと思います。

また、今まで知りもしなかった製造機器に触れて扱うことができることは、自分の中でもいい経験であり、とても楽しいことだと思います。



2021年度入社

### Q1.入社を決断したポイントを教えてください。

動物用ワクチンでNo.1のシェアを誇っている点です。

獣医療、特に産業動物の分野では、家畜やその生産物を食用に供するという経済的側面から、「治療」よりも「予防」が重要となってきます。同時に、衛生環境の改善などで人間社会では抑えられつつあった（昨今は新型コロナウイルスが猛威を振るっていますが）伝染病は、いまだに産業動物の分野では生産性に大きな影響を与える要因の一つとなっています。

また、ワクチンは抗生物質と違い薬剤耐性菌を生むリスクも少ないので、伝染病対策としてはとても有用です。そういう観点から、ワクチンで伝染病を予防することは産業動物の分野においては重要であり、意義あることだと思っていました。

就職活動時、働くならば「動物と、動物と生活を共にする人々のためになる仕事をしたい」と考えていた私にとっては、畜産業における「予防」に関わっていること、そして動物用ワクチンで高シェアを誇っていることが、この会社へ入社する決め手になったと思います。

### Q2.仕事のやりがいや喜びを教えてください。

小さいことでも所属するチームメンバーの助けになるようなことができたときや、「ありがとう」と言われたとき、また、日々できることが少しずつでも増えていくことが喜びになっていると思います。

私は現在製剤部でワクチンの製造に関わっていますが、入社してからの日が浅く、出来ることも少なく、一人で作業を任されることはほとんどありません。しかし、所属するチームが世の中に送り出している製品は畜産業では欠かせないものであり、自分がチームの一員として成長していくことは、今は直接世の中の貢献につながらなくとも、将来的に会社とワクチンのユーザーの助けになると考えています。



2021年度入社

Q1.入社を決断したポイントを教えてください。

- ・福利厚生が良い、女性が働きやすそうな職場
- ・新しいことをたくさん学びたい
- ・業界でシェアの大きい製品を製造している  
→それだけ人の役に立つ製品の製造に関わることができる

Q2.仕事のやりがいや喜びを教えてください。

まだ教育の段階ではありますが、自分で試験操作を行い、判定までできると嬉しいです。また、動物管理や動物試験を行うことも増えて、これからやりがいをもって取り組んでいきたいと考えています。



2021年度入社

Q1.入社を決断したポイントを教えてください。

私は大学で獣医学を専攻し、畜産業において感染症対策を徹底することが重要な課題であると学びました。京都微研の「動物を守ることが人を支えることに繋がる」という企業理念に共感したこと、また昭和23年創業という長い歴史をもつことが、入社を決めたポイントの一つです。京都微研でワクチン製造に携わることでより多くの人役に立つような仕事ができるのではないかと考えました。

Q2.仕事のやりがいや喜びを教えてください。

まだ見学の作業が多いのですが、ワクチンの製造工程の一部を実際に見ることができ、一社員としてワクチンの作製に従業している実感が増しました。また自分の課だけでなく様々な課で研修させていただけるため、学ぶことが多いこともやりがいの一つです。これから業務を任せて頂けるように頑張りたいと思います。



2021年度入社

### Q1.入社を決断したポイントを教えてください。

- ・大学時代、細菌を専門に研究しており、多少なりとも知識や実験手技が活かせると考えたため。また感染症系の授業に1番興味があり、感染症対策に関わる職に就きたかったため
- ・情勢に関わらず、ワクチンには必ず一定の需要があり、安定した業界であると考えたため
- ・治療という手段で動物を助けるのではなく、予防医学の観点から動物・オーナーさんを助けたかったため
- ・会社見学・選考の際に、役員の方や人事の方の雰囲気非常に良かったため（最終的に他社と迷った際、そこがかなり大きな決め手になりました）
- ・動物用ワクチンメーカーの中で、一番立地が良かったため（他社がある地域は車社会なことが多い…）

### Q2.仕事のやりがいや喜びを教えてください。

入社1年目から製剤担当者になるための引継ぎがあり、早いうちから責任のある業務に携われることにやりがいと喜びを感じています。引継ぎの際も、普通の業務でも、1質問すると10返してくださるので、不明点が分からずずっと1人でもやもやす…ということも全くありません。

動物（私の場合は鶏・魚）の解剖学的・生理的な知識、養鶏業界の現状、製剤についてなど勉強すべきことは尽きませんが、大学でも扱わなかった未知の世界なので、毎日楽しく学んでいます。また採血・剖検に何度も入らせていただき、少しずつ上達していくのがわかるので、自分が成長できている喜びを実感できる職場だと感じています。



2021年度入社

### Q1.入社を決断したポイントを教えてください。

私は獣医の資格を活かして元々実験・研究を仕事にしていこうと思っていたので、まず動物用医薬品メーカーに絞って就職先を探しました。

その中でインターンシップを開催していた京都微研に見学をしに行き、その時に現場の雰囲気や働いている方々の人柄に惹かれたのが一番大きいと思います。

また、動物用ワクチンを専門に扱っている企業ということで、確実に動物用ワクチンに携われることや、牛用ワクチン国内シェアNo.1であるため、農家さんや獣医師からの認知度も高いことから、自分のやりたいことに合致し、働く環境としても良いということで地元から遠い京都の地でしたが、第一志望となりました。

### Q2.仕事のやりがいや喜びを教えてください。

学生時代、アカデミックの分野では、自分が今取り組んでいることがどう生かされていくのか、見えづらい部分もありましたが、今は動物用ワクチンの開発・製造を仕事としているため、現在・将来の両面で現場への貢献が感じられることがやりがいを感じられる部分だと思います。現場からの生の声を知ること、良い部分は継続し、問題点はどうやって解決していくか、現場の方々の期待に応えていけるように考え、実行に移していけることは、いち研究者としても大きな喜びとなります。

また、現場への貢献という大きなスケールだけではなく、部やプロジェクトの単位でも、一人ではなく、チームで取り組んでいるため、意見交換をしながら、それぞれが貢献していけるという点もやりがいや喜びを感じられる部分だと思います。